



磐田市 市民活動センター

のっほ

令和6年3月
第2号

みんなが主役のまちづくりへ

創刊号（9月発行）では、市民活動センターの役割を紹介しました。
今回は、開設経緯とその後の変遷をお伝えします。
オープン当時は、県下初の公設民営のセンターとして多くの市町からも注目を浴びました。

開館 火～土 9:00～17:30
日・祝 9:00～17:00

休館 月（祝日にあたる時は、その翌日）

時代によって変わる 市民活動センターの役割

つなぐ～つながる～つなげる場

平成10年 12月 「特定非営利活動促進法（NPO法）」施行

平成11年 7月
市民活動団体が活動拠点を要望

平成12年 6月
「磐田NPO活動推進協議会」設立

平成12年 9月
「磐田NPO交流センター」開設

平成17年 4月
市町村合併

平成17年
磐田未来会議→「まちづくり提案書」→総合計画

平成18年
磐田市協働のまちづくり会議
→「磐田市協働のまちづくりに向けての指針」

平成21年 4月
「磐田市協働のまちづくり推進条例」施行

平成21年 6月
移転（旧豊田支所内）
移転に伴い「いわた市民活動センター」に名称変更

平成22年 3月
「磐田NPO活動推進協議会」をNPO法人化

平成23年 1月
「磐田市市民活動センター条例」施行
磐田市市民活動センター条例施行に伴い
「磐田市市民活動センター」に名称変更

令和2年 1月
移転（ワークピア磐田内）



役割

市民活動の交流拠点

NPO法施行が
きっかけとなり
市民活動が盛り上がる



- 市民活動の場所が欲しい
- 他の団体と交流出来たらいいね
- ボランティアがしたい
- 仲間でグループを作りたい

まちづくり
地域づくりの拠点

平成の大合併を経て
「協働のまちづくり」が
注目される



- ボランティアや市民活動の情報が欲しい
- まちづくりに関わりたい
- 自分ができの事を探したい

新しい
まちづくりの拠点

市民団体同士のつながり
（連携）、まちづくりへの
意識が高まる



- 団体の力を成長させたい
- NPO法人にしたい
- それぞれの団体の良さを活かしたい
- 団体同士でつながりたい
- 活動を豊かにしたい

まちづくり・地域づくりの視点で想いを形にしていくために…

詳しくはホームページで
紹介しています♪

ホームページ



ニュースレター



メールマガジン



ボランティア
登録制度



「磐田市みんなが主役のまちづくり条例(案)」説明会 開催

令和5年12月2日(土) 14:00～ 会場/ワークピア磐田

【主催】 磐田市、(仮称)磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会
磐田市市民活動センター

令和4～5年度に開催した「いわたまちづくりワークショップ」の参加者6名に、パネルディスカッションのパネリストとしてご登壇いただきました。たくさん語られたご意見の中から印象に残った一部を紹介します。



パネルディスカッション 【コーディネーター】原口佐知子氏 (Musubi代表)
【パネリスト】多世代の様々な6名

Q 条例づくり(ワークショップ)に参加した感想や やってみたい事などを教えてください

- 子どもたちのために何かやりたい。地域の小さな活動でも良い
- みんなで話し合える場を企画、運営できたらいいな
- 中学生や高校生にしか出せない意見もあると思う
- 地域づくりに高校生の参加を増やしていきたい

これからの 市民活動センターの役割とは？

～みんなが主役のまちづくり・ 地域づくりへ～

令和6年に条例が改正される予定です。市民自治、地域づくり協議会を中心としたまちづくりに向けて、交流センターや地域づくり協議会と連携しながら“対話の場づくり”にチカラを注いでいきます。

これからも、市民活動センター“のっぽ”は、まちづくりのセンターとしての役割を果たしていきます。



のっぽ
©磐田市

「ファシリタティブ」は “対話の場づくり”のお手伝いをします

令和4年度に開催した「市民ファシリテーター養成講座」の修了生が、
「ファシリタティブ」として活動を始めました。



不登校を考える講演会でのグループワーク

市民ファシリテーターって何？

あなたの身近な会議の場面を思い出してください。進行役が議題に沿って話すような決まりきった形式が多くありませんか？目上の人や年配の人を意識して意見を言えなくなってしまうこともあるのではないのでしょうか？

従来の会議形式ではなく、ファシリテーションという技法を使って参加者の意見を聞くことにより、新しい気づきや発見が生まれ、さらにはこれらによる相乗効果も現れてきます。

話し合いの場がスムーズに進められるようにお手伝いをする人がファシリテーターです。

ファシリタティブからのメッセージ

まだ活動を始めたばかりですが、学ぶことの多いこの一年でした。私たちも市民です。中立の立場でみなさんの意見を引き出し、受け止め、まとめていくお手伝いができるのではないかと思います。

「会話」は人間関係の距離を保つためのもの、「討論」は何かを決定するときに必要なこと、そして、「対話」は相手を理解し相手と認め合うことです。

対話の場では、互いの立場や感情を理解し、共感をしたうえで対立を避けて、より建設的な関係を築きます。

磐田市に対話によるまちづくりが根付くことを願います。

お知らせ

NPO法人及び市民活動センターの登録団体の「学び」を応援するため、広く市民が参加できる講演会や研修会等を行う活動費を「**磐田市地域づくり推進事業費補助金**」により支援します。磐田市役所HP [磐田ここからラボ](#)
関心のある方は市民活動センターにご相談ください

